

製品の保証・標準使用期間について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のお問合せ先へご連絡ください。

1. 保証項目・期間

外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色	1年
機構部・可動部	回転機構部・可動部の故障	2年
構造体	強度・構造体に関わる破損	3年

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をするとところでの保証期間ではありません。

※保証期間経過後の修理については、有償とさせていただきます。

2. 保証対象外

保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。

- ・火災、天災による故障または破損。
- ・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

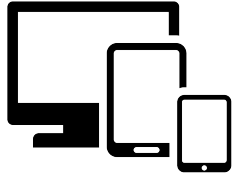
3. JOIFA標準使用期間

棚(固定式)標準使用期間:10年

※JOIFA標準使用期間は耐用年数・保証期間ではありません。

お問合せ先

PC・スマホ・タブレットで右のQRコードを読み取るか下記のURLを入力すると金剛株式会社の支店・営業所のお問合せ先をご覧ください。



URL: <https://www.kongo-corp.co.jp/company/base.html>

受付時間 月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等を除く)

安心と先進で社会文化に貢献する



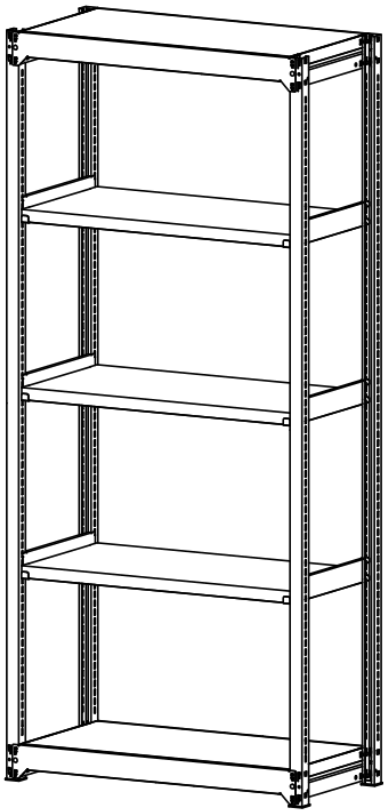
www.kongo-corp.co.jp

取扱説明書

中軽量物品棚 BLM

※組み立て前にこの取扱説明書を必ずお読みください。組み立て後は取扱説明書を大切に保管してください。

機種		構成部材(棚 1台分の内容物)		
耐荷重		部材名	〈基本型〉	〈連結型〉
外寸法	高さ	1	支柱	基本: 4本 連結: 2本
	間口	2	基礎	基本: 4ヶ 連結: 2ヶ
	奥行	3	側ツナギ	4本
間口許容寸法		4	連ツナギ	4本
奥行許容寸法		5	棚板	(天地段数) 枚
棚段		6	棚受	(天地段数-2)× 2 枚
表面材		7	ブッシュ リベット	16ヶ
表面加工		※最初に必要な部材が揃っているか確認ください。 ※転倒防止用部品をご入用の際は、別途お問い合わせください。		
		本体: スチール ブッシュリベット: ナイロン 基礎: EVA樹脂		
		ポリエステル系樹脂塗装 アクリル系樹脂塗装		



安全にお使いいただくために (必ずお守りください)



警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

- 床固定・天ツナギ・壁固定などの転倒防止装置を外して使わないでください。棚が転倒してけがをすることがあります。
- 収納物を棚から突き出して収納しないでください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- 部品同士のかみ合わせ不良、支柱の変形などの異常を発見したままで使用しないでください。
- 製品が壊れてけがをすることがあります。
- 棚通路での作業中、もしも地震や火災に遭遇した場合は直ちに棚通路から退出してください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- 廃棄するときは、専門業者にお任せください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 分解・修理・移動は専門業者にお任せください。転倒などの事故になることがあります。



注意 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

〈組み立て・設置について〉

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具などにキズがつかないように丁寧に扱いください。
- 必ず純正部品を使ってください。純正部品でないと、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

〈使用について〉

- 棚板に耐荷重以上のものを収納しないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。荷物は一か所に偏らず平均的に載せてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて破損するおそれがあります。
- 天板の上に物を載せないでください。収納物が落下してけがをすることがあります。
- 天地板及び棚板に手足をかけたり、登ったりしないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。
- 棚板への収納物の積み下ろしは丁寧にこなってください。棚板が外れてけがをすることがあります。
- 本体の上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。

- 可動部の隙間に手を入れないでください。けがをすることがあります。
- 棚板の位置を変更する場合は、軍手などの保護具を使用してください。けがをすることがあります。
- 棚板などの塗装面には、傷をつけないよう注意してください。錆発生の原因となります。
- 部品の位置(上下左右)を確認の上、正しく使ってください。部品を逆向きに使用するとけがをすることがあります。
- 危険物(壊れ物、薬品、生物など)を収納しないでください。人や衣服などを傷つけることがあります。
- 清掃をおこなう場合は、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装が変色したり剥けたりします。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。けがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 製品に不具合や不明な点がありましたら、早めに弊社へご連絡してください。

作業推奨人数

2名

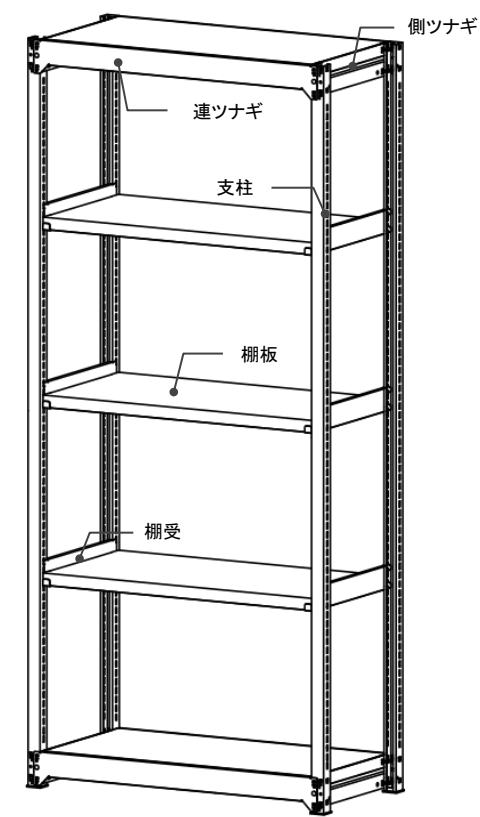
必要な工具

プラスチックハンマー

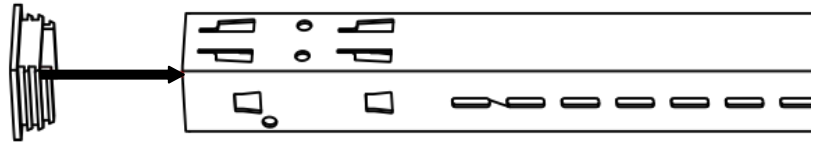
(ホームセンター等でお買い求めください。)

組立説明

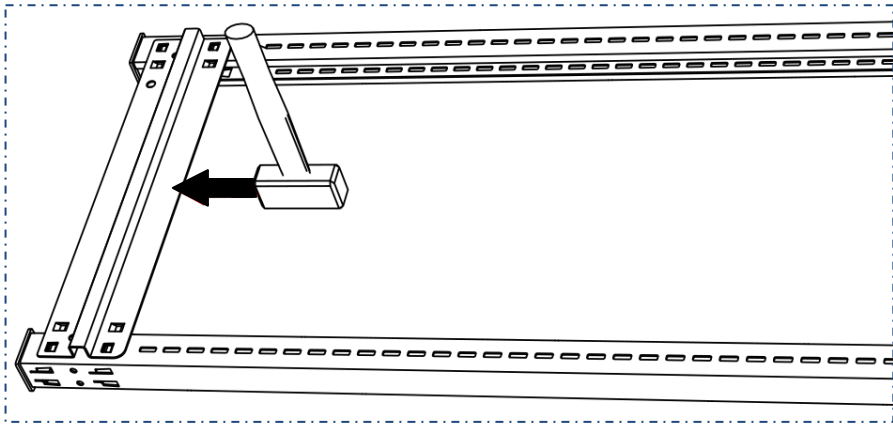
完成イメージ



1 支柱に基礎を取り付けます。
支柱には上下があるため、支柱穴を下图の向きにし取り付けます。



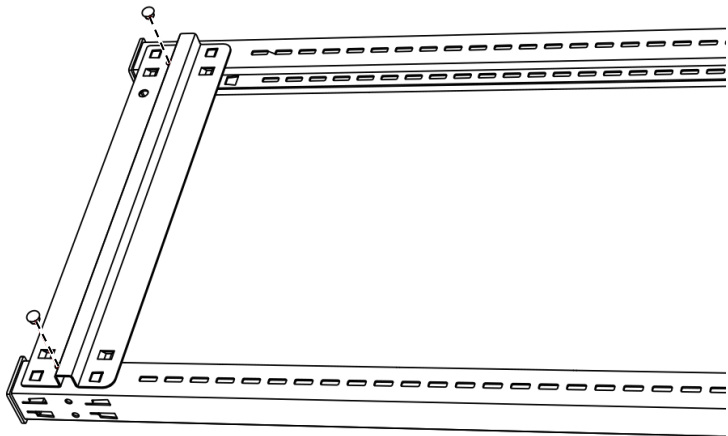
2 2本の支柱を開口部分が向き合うように並べ、側ツナギを上下に組み付けます。プラスチックハンマー等で、側ツナギの爪を支柱の穴に叩き込みます。



POINT 側ツナギは上下があり、爪を上から下に差し込むように組み付けます。

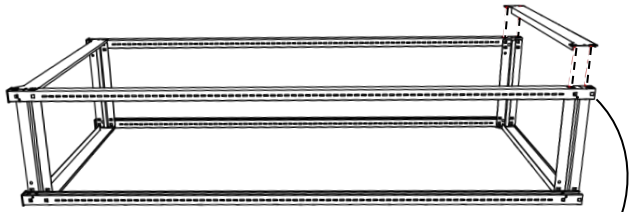
POINT 支柱に傷が入らないように、床に段ボール等を敷きます。

3 組み付けた支柱と側ツナギをプッシュリベットで固定します。

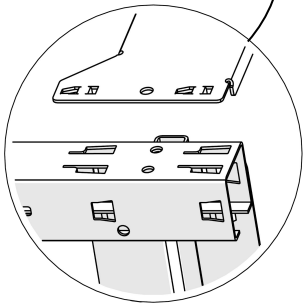


注意! 組立時にプラスチックハンマー等で叩き込む工程があります。誤って手を叩いて怪我しないようお気を付けてください。

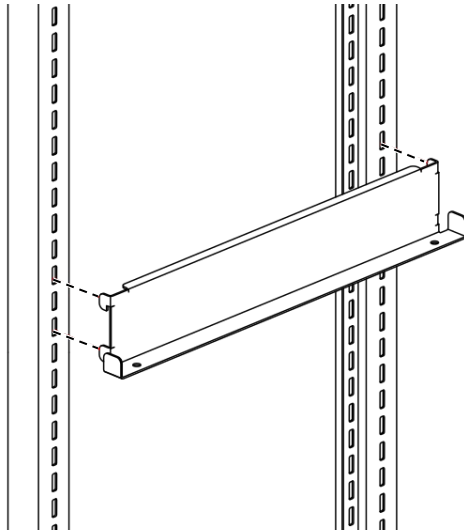
4 連ツナギの爪を支柱の穴に入れ、プラスチックハンマー等で叩き込みます。支柱は側ツナギが内側にくるよう配置します。



POINT 不安定作業となりますので、二人一組で行ってください。

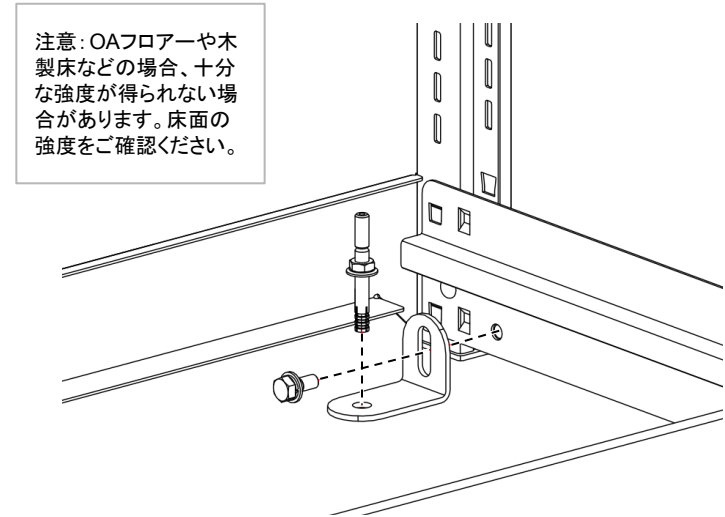


6 支柱の袖穴に棚受を商品サイズに応じて、順次取り付けます。



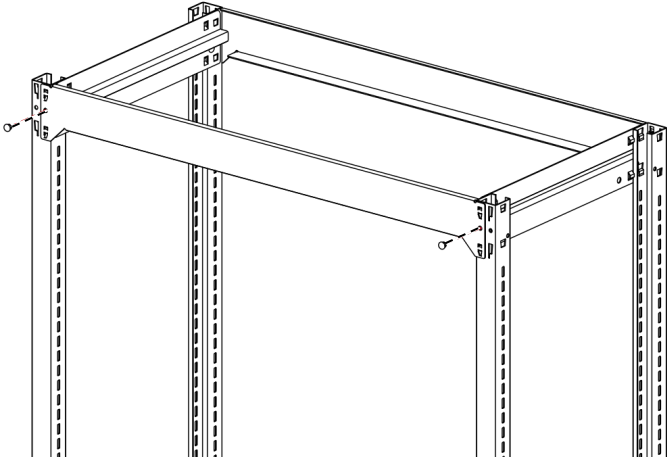
床固定・壁固定は専門業者にお任せください。

床固定 側ツナギに床固定金具を六角ボルトで固定し、床固定金具をアンカーボルトで固定します。

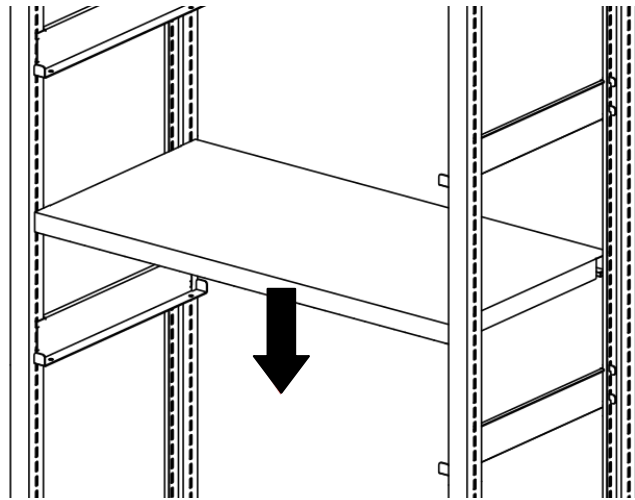


注意: OAフローアや木製床などの場合、十分な強度が得られない場合があります。床面の強度をご確認ください。

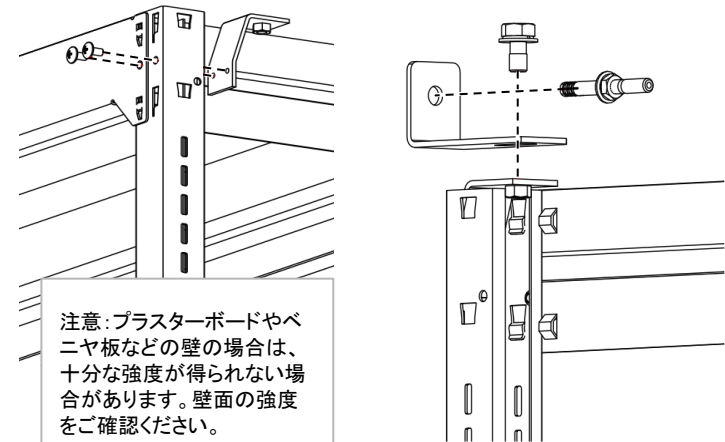
5 組み付けた支柱と連ツナギをプッシュリベットで固定します。



7 棚板を棚受に載せます。
最上段にも棚板を載せてください。完成です。



壁固定 壁固定取付金具を支柱・連ツナギと共にトラス小ねじM6×12で固定します。壁固定金具をM8ボルトで取付金具に固定し、アンカーボルトで壁に固定します。



注意: プラスターボードやベニヤ板などの壁の場合は、十分な強度が得られない場合があります。壁面の強度をご確認ください。